

主体的に説明的な文章を読む生徒を育てよう

研究の概要



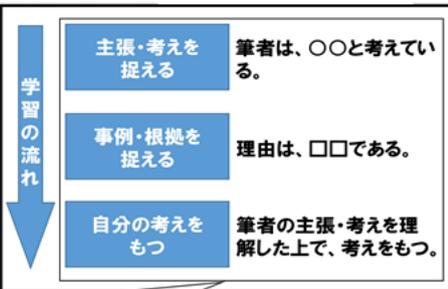
単元の導入で学習モデルを体験させたり、単元を通して自分と他者の考えを比較させたりすれば、主体的に説明的な文章を読む生徒が育成できると考えました。

本研究では、「主体的に説明的な文章を読む生徒」を

「単元の最後まで見通しと目的意識をもち、意欲的に説明的な文章を読む生徒」と捉えました。

見通し1 学習モデルの体験 → 見通しをもち、意欲的に読む！

学習モデル例



「筆者の意見に納得できない。なぜなら・・・」
「筆者は□□だから、〇〇だと言っている。」
「最後に・・・」

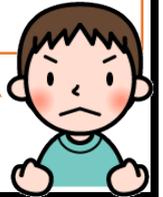


単元で取り組む言語活動を簡単、手軽で、分かりやすくした学習モデルを単元の導入で体験させます。

単元の学習に見通しをもつ

- ・単元で取り組む言語活動が分かる。
- ・単元の学習の進め方が分かる。
- ・単元の学習目標が分かる。

単元で取り組む言語活動や勉強の進め方、単元の学習目標が分かったぞ！最後まで頑張ろう！



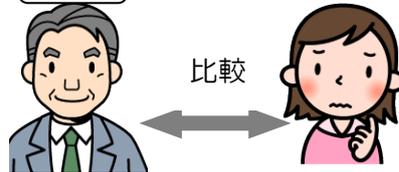
見通し2 他者と自分の考えの比較 → 目的意識をもち、意欲的に読む！

① 学習課題の設定（筆者と自分の考えの比較）



「賛成する・しない」「納得できる・できない」「共感できる・できない」等の視点から、筆者の主張や考えと自分の考えを比べられるような課題を設定します。

筆者



比較

筆者の考えと根拠をつかむために文章を読む！

筆者は△△と言っているけど私は〇〇と思う。どうしてかな？よく読んでみよう！

② 立場の視覚化（自分と友達の考えの比較）



誰がどの立場なのかをネームプレート等を活用し視覚化します。また、立場ごとの意見を黒板に整理して示すなどし、自分と友達の考えを比較しやすいようにします。



【同じ立場での交流】

同じ立場でも根拠が異なる等、考えが深まる。



【異なる立場での交流】

異なる立場の意見から新たな発見をする等、考えが広がる。

交流を通して



友達の考えを確かめたい！
もう一度自分でも考えたい！
だから、文章を読んでみよう！

実践内容



第2学年「君が最後の晩餐」を知っているか(全4時間)での実践を紹介します。

国語

平成29年度 前橋特別研修研究員
前橋市立桂萱中学校 穴原 大輔

見通し1 学習モデルの体験



漫画のロコミで評論の特徴と単元の見通し(単元で取り組む言語活動、学習の進め方、学習目標)をつかませました。

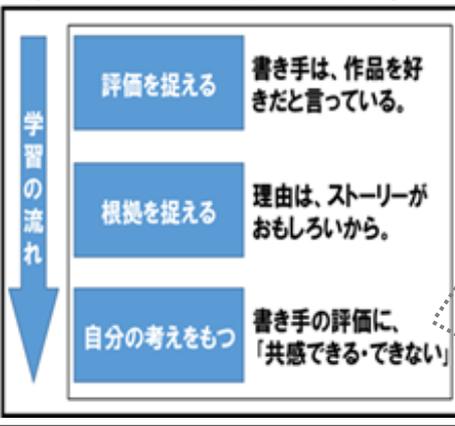
学習目標

- ① 筆者の「見よ考えよ」を読み取る。
主観的評価
- ② 筆者が考へている根拠を読み取る。
客観的事実
- ③ 筆者の評論について「自分の考えをもつ」。

「私もそう思う」「共感できる」「私はそうは思わない、共感できない」

単元の学習目標

学習モデル(ロコミを読み、評価に共感できるか考える)



共感できる! 私も、ストーリーがおもしろいと思うから。



共感できない! ストーリーが複雑で分かりにくいから。

ロコミを読んだことで、評論の読み方が分かった。(授業後の感想より)

見通し2 他者と自分の考えの比較



「最後の晩餐」を「かっこいい。」と評価する筆者に共感できるか考えさせました。

① 学習課題の設定(筆者と自分の考えの比較)

筆者の「かっこいい。」に共感できるか考えよう

筆者に共感できるか考えたことで、いつも以上に、文章を真剣に読んで考えられた。(授業後の感想より)

② 立場の視覚化(自分と友達の考えの比較)

立場を視覚化した板書

自分の考えを深めよう

共感できる (13) 本文を讀むことで分かった。レオナルドの絵画の科学。よって絵が引き立つ。人々が細く描かれる(表情)

少し共感できる (14) 修復後には見やすく顔や服、明暗、遠近

あまり共感できなかった (15) 読めば読めば、解部学、遠近法、明暗法が、かっこいいとは思えない。キリストが夫の人の描き方、不思議な感情、モチーフ



黒板にネームプレートを貼らせ、誰がどの立場なのか、一目で分かるようにしました。



同じ立場での交流 (少人数)

異なる立場での交流 (全体)



筆者の伝えたいことがよく分かったので、より共感できるようになった。(授業後の感想より)

成果



- 学習モデルを体験させたことで、見通しをもち、生徒は単元の最後まで意欲的に文章を読むことができました。
- 他者や自分の考えを比較させることで、生徒は筆者の考えや根拠を確かめるために、意欲的に文章を読むことができました。